



株主のみなさまへ
第91期 中間報告書

2015.4.1-2015.9.30
(平成27年4月1日-平成27年9月30日)



基本理念

1. 社会 よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す。
1) 企業倫理の徹底をはかり、
公正で透明な企業活動の推進。
2) クリーンで安全な商品を提供することを使命とし、
地球環境保護を重視した企業活動の推進。
3) 地域社会の一員としての役割を自覚し、
よい社会づくりに貢献。
2. お客様 革新的な技術開発、製品開発に努め、
お客様に喜ばれる、よい商品を提供する。
3. 株主 将来の発展に向けた革新的経営を進め、
株主の信頼に応える。
4. 社員 労使相互信頼を基本に、社員の個性を尊重し、
安全で働きやすい職場環境をつくる。
5. 取引先 開かれた取引関係を基本に、互いに研鑽に努め、
共に長期安定的な成長を目指す。



株主のみなさまへ



トヨタ紡織グループは、この6月新たな経営体制がスタートしました。2004年10月の豊田紡織、アラコの内装事業、タカニチの3社合併以降、27カ国で拠点を構え世界各地でお客様のニーズに応える生産体制を整備し、合併当初の目的であった「真のグローバル企業」に向け、一歩一歩近づいてまいりました。直近では、燃料電池自動車に搭載される基幹部品の生産を開始したほか、航空機シートを初受注するなど新たな取り組みもはじまるとともに、グローバルなシートサプライヤーとしてさらに飛躍するために、アイシン精機(株)、シロキ工業(株)のシート骨格機構部品事業を当社へ集約しました。新体制により、これまでの取り組みを一層加速させるとともに、グローバルでのより強固な経営基盤の確立やさらなる競争力強化を目指します。

私たちを取り巻く市場環境は、新興国を中心にグローバル競争がますます激化することも予想され、引き続き予断を許さない厳しい状況が続くと思われます。このような状況の中、まずは向こう2年間を持続的な成長を図るための足元固めの期間と位置づけ、体質

強化を図るとともに、お客さまから常に“選ばれる存在”となるべく「お客さまの期待を超え、感動に変わる製品づくり」に注力してまいります。

2020年のありたい姿「世界中のお客さまに最高のモビリティライフを提案し続ける会社」として、グローバルに勝ち残るとともに、「よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す」という基本理念のもと、すべてのステークホルダーから信頼され、ともに成長する企業づくりにまい進し、トヨタ紡織の未来のために、ご支援いただいておりますステークホルダーのみなさまのために、今何をなすべきかを追求し実行に移してまいります。

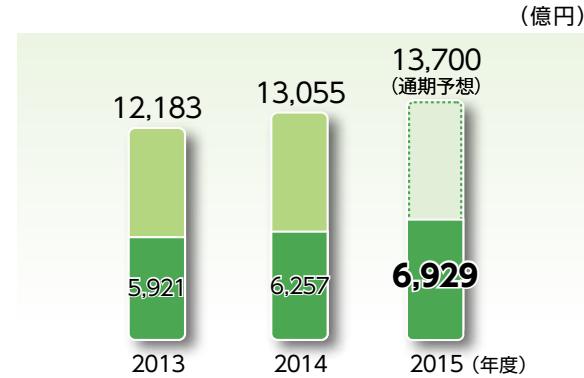
みなさまには、今後とも、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役会長 **豊田周平**
取締役社長 **石井克政**

目次

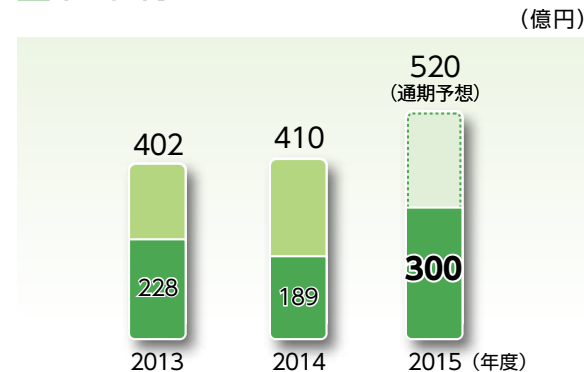
株主のみなさまへ	02
財務ハイライト	03
特別企画 社長インタビュー	05
トピックス	07
決算概要	09
会社の概況	10

売上高



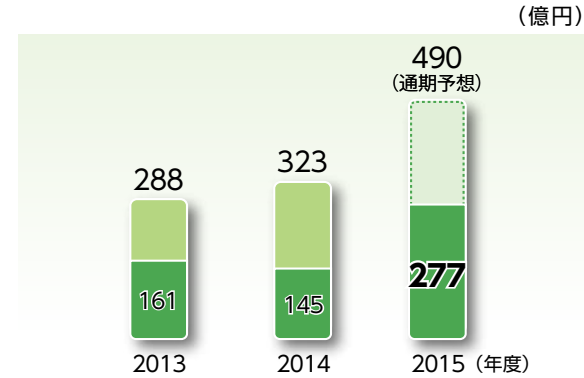
主に日本での高付加価値製品の販売が拡大したことや為替影響などにより、増収となりました。

経常利益



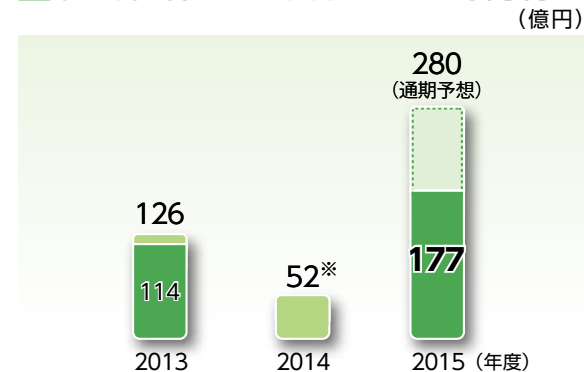
営業利益の増加などにより、増益となりました。

営業利益



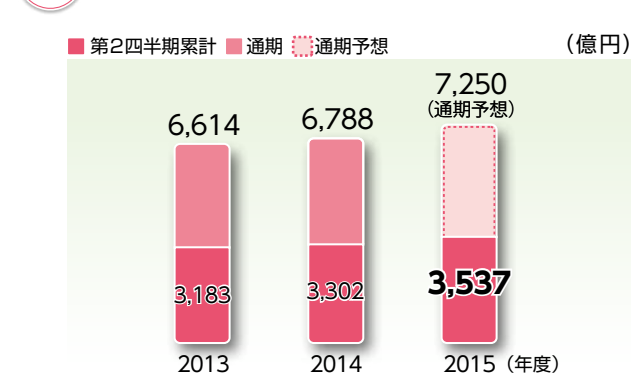
車種構成の変化などの増収の影響、および北米での立上げ費用の効率化など合理化の効果により、増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益



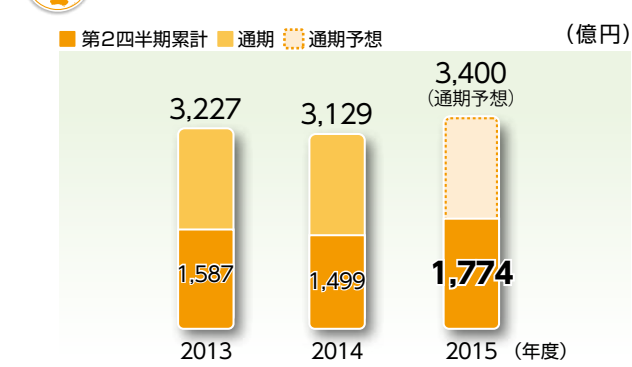
経常利益の増加などにより、増益となりました。
*2014年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期累計87億円、通期52億円でした。

日本の売上高の推移



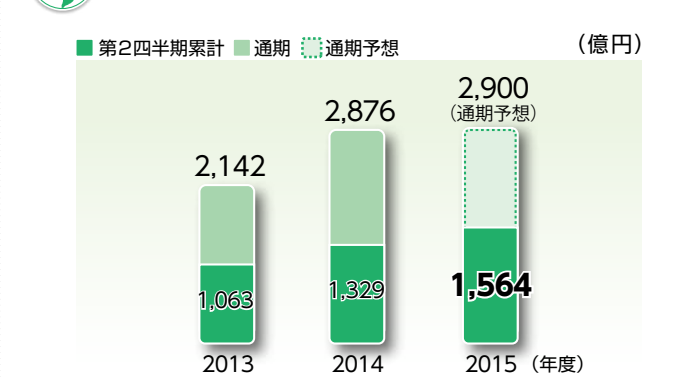
生産台数は減少しましたが、車種構成の変化などにより、前第2四半期に比べ234億円(7.1%)増加の3,537億円となりました。

アジア・オセアニアの売上高の推移



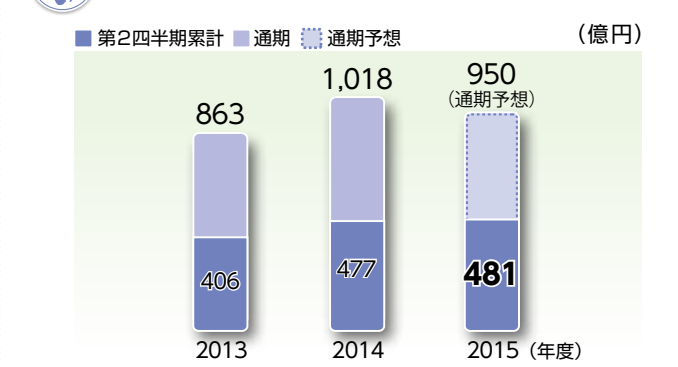
タイ等での減産はありましたが、為替影響などにより、前第2四半期に比べ275億円(18.4%)増加の1,774億円となりました。

北中南米の売上高の推移



北米での車種構成の変化や為替影響などにより、前第2四半期に比べ234億円(17.6%)増加の1,564億円となりました。

欧州・アフリカの売上高の推移



生産台数の増加などにより、前第2四半期に比べ4億円(0.9%)増加の481億円となりました。

持続可能な成長を目指し、 真の競争力を身につけてまいります

2015年6月、会長の豊田周平と社長の石井克政よしまさのもと、トヨタ紡織グループの新たなステージが幕を開けました。ここでは、社長の石井から、トヨタ紡織の未来にかける思いについてご紹介いたします。



Q1. 社長に就任しての卒直な思いを教えてください。

A1. 持続可能な成長のために貢献していきます。

当社には素晴らしい技術者や生産のプロがたくさんいて、素晴らしい技術もあります。今まで築いてきたモノづくりの実績を引き継ぎ、自分が経験してきたことや強みを最大限生かし、トヨタ紡織グループの持続可能な成長のために貢献していきます。

Q2. ご自身の強みは何ですか。

A2. 営業、マーケティングの目線と、グローバルでのビジネスマネジメント

日本、北米、欧州で、営業や販売、マーケティングを長く担当してきました。その中で、市場についての理解、すなわち、お客様が今望んでいること、競合他社の対応、将来市場で何が求められるのかを理解しようとするのが、次の製品戦略・製品開発において、いかに大切かを経験しました。また、グローバルのビジネスマネジメントにも携わり、中期経営戦略の策定・推進、機能や地域の組織マネジメントなどに取り組み、経験を積んできました。こうした経験が新しい視点や観点となって、当社に付加価値を生み出すことができると考えています。

Q3. 今後の取り組みについて教えてください。

A3. お客様の期待を超える、感動に変わるモノづくりに挑戦します。

当面は、これまでと同様、2020Visionやグローバル年度方針に沿って、事業を展開していきます。これらを達成するために、いかに計画に落とし込み、日々の積み上げを通して成果を最大化していくか、そのための環境づくりが私の使命だと認識しています。また、私たちが持続可能な成長を遂げるには、グローバルな競争を勝ち抜く「真の競争力」と、経営基盤の確立が必要だと考えています。まず、自動車メーカーからの信頼をしっかりと得るため、お客様の期待を超えるような移動空間を提供し、感動に変わるモノづくりに挑戦し続けることが大切です。すでにできあがっている制度やしぐみを強化するとともに、一人ひとりが十分に力を発揮し、その個々の努力が組織の力となり、企業の競争力となるような職場環境づくりを行っていきます。

Q4. 心掛けていること、信条は何ですか。

A4. 「素直に」

これまでお話ししてきたことを、本当に意味のあるものとするには、先入観や固定概念を持たず、事実（現実）を直視して、

何が本質かを見極めて行動することが大切だと考えています。私はそれを「素直に」と捉えています。

今何をすべきか「素直に」追求し、当社の未来に向けた経営基盤をより確かなものにし、次世代につなぐ役割を担っていきます。



トピックス

01
トピックス

ビジネスの拡大

「ANA×トヨタ紡織」国内線普通席の新シートを共同開発



すべての移動空間に快適な乗り心地を

当社初の航空機シートを、全日本空輸(株)(ANA)と共同開発しました。

ANAのノウハウとニーズを織り込み、トヨタ紡織の長年にわたる多種多様な自動車用シート開発を通して培った人間工学に基づく座り心地の知見を生かし、「お客様の心に残るひとときを」をコンセプトに、どなたにも快適に座っていただけるシートをつくりあげました。このシートは、2015年5月よりB767-300型機に搭載されています。



4月21日、報道関係者約70人が集まる中、記者発表を行いました

やわらかいカタチ、
やわらかい素材

「人の動き」と「目線方向」で空間
を広げる

目線高さに
ファブリックを配置

膝前スペースを確保
した薄型テーブル

丸みを帯びた
形状で圧迫感
を低減

機能を織り込んだスリムデザイン

丸みを持たせたプロテクター

窓付き
ポケット

アーム機構を覆う
ファブリックカバー

シートの特長

「座り心地」へのこだわり

人の身体をどう支えるかが最も重要と考え、身体の根幹である腰(骨盤)をしっかり支持することで、腰周りの筋肉疲労を抑え、リラックスできる姿勢を保持するシート構造にしました。また、身体にかかる圧力をバランスよく分散するよう、背もたれや座面の形状、高さなどを設計しました。

「使いやすさ」へのこだわり

身体に合った使いやすいテーブルの高さや、自然に肘が支えられるアームレストの高さなど、小柄な人から大柄な人まで誰もが心地よいと感じる位置やカタチを、様々な角度から検証し設定。

「空間」へのこだわり

丸みを帯びたシートのカタチで座る人の視界を広げ、「開放感」を創出。目線の高さにファブリックを使うことで、柔らかで圧迫感の少ない、やさしい空間をつくりました。

02
トピックス

事業展開

中国の生産子会社 広州桜泰が GOOD FACTORY賞※受賞

一般社団法人日本能率協会が主催する2015年度(第5回)GOOD FACTORY賞の「ものづくりプロセス革新賞」を、広州桜泰自動車飾件有限公司が受賞しました。広州桜泰は、「仕入先と一体となったものづくりプロセス革新」というテーマのもと、現地社員が主導してステップを明確化し、現地の仕入先とともに品質向上活動を推進した結果、良品率が向上したことを評価されました。

トヨタ紡織グループがこの賞を受賞するのは、2012年度にタイの生産子会社トヨタ紡織ゲートウェイ(タイランド)が受賞して以来2回目です。

※アジア地域の日系企業を対象に、品質向上など4部門において成果を上げた工場を顕彰



中心となって取り組んだメンバー

03
トピックス

技術開発

ウォッシュブルカバーシート 新開発

ウォッシュブルカバーシートを新開発し、トヨタ自動車(株)のポルテとスペイダの特別仕様車に採用されました。このシートは、ウォッシュブルカバーを簡単に取り外して、家庭の洗濯機で丸洗いが可能。脱着はファスナー式で、ベースシートにフィットしてシートの快適な座り心地はそのままに、全席をスタイリッシュに彩ります。また、ベースシートは汚れにくい撥水タイプの表皮で、ウォッシュブルカバーを取り外した状態でも使用可能です。



記者発表で特長や脱着方法を説明

「もっといいシート」の実現へ 競争力強化に向けたシート骨格 機構部品事業集約

アイシン精機(株)とシロキ工業(株)がトヨタ自動車(株)または当社に供給しているシート骨格機構部品事業を、11月1日付で当社に集約。これまで各社で行ってきた開発を集約し、開発力強化を図るとともに、生産を順次移管し、グローバルでシート骨格の開発から生産までの一貫体制を整えていきます。今回の集約により、シート骨格専門の開発組織を整えるとともに、生産面では、フレームからシート組み立てまで一つの工場で行う一貫生産体制により、物流費や在庫の低減など、一層の競争力強化を進めます。

- 運転席、助手席、後部座席のすべてのクッション・ヘッドレスト・背もたれのシートカバーを脱着可能にした仕様はトヨタ自動車初
- 洗濯可能なシートカバーはトヨタ自動車初

決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	前期末 (2015年3月31日)	当第2四半期末 (2015年9月30日)
●資産の部		
流動資産	433,475	460,196
固定資産	286,204	279,221
有形固定資産	241,197	234,023
無形固定資産	2,372	2,239
投資その他の資産	42,634	42,958
資産合計	719,680	739,417

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	当第2四半期累計期間 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)
売上高	625,723	692,995
売上総利益	56,311	70,240
販売費及び一般管理費	41,760	42,498
営業利益	14,550	27,741
営業外収益	6,300	4,821
営業外費用	1,930	2,562
経常利益	18,919	30,000
特別損失	825	627
税金等調整前四半期純利益	18,094	29,372
法人税等	6,898	8,441
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,458	3,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,737	17,701

(単位：百万円)

科目	前期末 (2015年3月31日)	当第2四半期末 (2015年9月30日)
●負債の部		
流動負債	335,725	360,772
固定負債	119,916	106,721
負債合計	455,642	467,494
●純資産の部		
株主資本	212,904	229,582
その他の包括利益累計額	2,888	△ 2,554
新株予約権	332	95
非支配株主持分	47,912	44,799
純資産合計	264,038	271,923
負債純資産合計	719,680	739,417

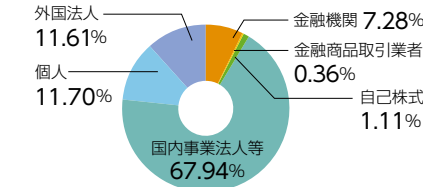
会社の概況 (2015年9月30日現在)

株式の総数

発行可能株式総数 500,000,000 株
発行済株式の総数 187,665,738 株

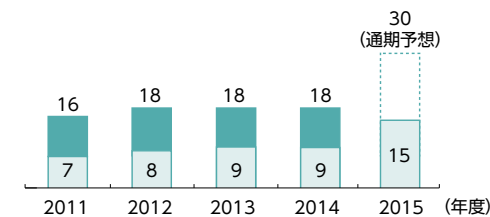
株主数 (14,160 名)

●所有者別株式分布状況



配当金の推移

■ 年間 (単位：円)
□ 第2四半期



当社は、長期安定的な配当の継続を基本に、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、株主のみなさまのご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

●中間配当金について

2015年9月30日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

1. 中間配当金：1株につき15円
2. 効力発生日ならびに支払い開始日：2015年11月26日

会社データ

設立 1950年5月
資本金 8,400百万円
従業員数 単独 8,205名 連結 41,244名
本社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

役員 [取締役および監査役]

取締役会長	豊田 周平	取締役	加藤 光久
取締役社長	石井 克政	取締役	守川 正博 ^{*1}
取締役副社長	小山 秀市	取締役	安達美智雄 ^{*1}
取締役副社長	宮寺 和彦	常勤監査役	三吉 茂俊
取締役副社長	滝 隆道	常勤監査役	水谷 輝克
取締役兼専務役員	堀 弘平	監査役	佐々木真一 ^{*2}
取締役兼専務役員	山内 得次	監査役	吉田 均 ^{*2}
取締役兼専務役員	山本 直	監査役	加藤 宣明 ^{*2}
取締役兼専務役員	伊藤 嘉浩		

※1 社外取締役 ※2 社外監査役


主な製品



●内装品
シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される移動空間を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、総合的な美しさや快適性・安全性を追求しています。



●フィルター・パワートレイン機器部品
世界をリードするフィルトレーション技術を駆使し、吸気システムや、エンジン潤滑系部品、車室内空調系フィルターなどの生産を行っています。



●繊維・外装品他
繊維事業ではシートファブリック、エアバッグ用布製品などの開発、生産を行っています。また、外装品事業では補給用バンパー、フェンダーライナーなどの生産を行っています。

株式事務のお取扱いについて

■ 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会

毎年6月

■ 配当金支払株主確定日

3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日

■ 株主名簿管理人および特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

■ ご注意

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	<ul style="list-style-type: none">● 特別口座から一般口座への振替請求● 単元未満株式の買取（買増）請求● 住所・氏名等のご変更● 特別口座の残高照会● 配当金の受領方法の指定※	<ul style="list-style-type: none">● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会● 支払期限経過後の配当金に関するご照会● 株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	特別口座管理機関	株主名簿管理人
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [手続き書類のご請求方法] ● 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 （通話料無料） ● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

■ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	<ul style="list-style-type: none">● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会● 支払期間経過後の配当金に関するご照会● 株式事務に関する一般的なお問合せ	<ul style="list-style-type: none">● 左記以外のお手続き、ご照会等
お問合せ先	株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等にお問合せください
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

■ 少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要がございます。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL **0120-232-711**（通話料無料）

